

2020年度目標に対する達成状況

NECグループ環境経営行動計画2020／2030

NECでは、2016年7月に気候変動対策を核として策定した長期の環境経営目標である「NECグループ環境経営行動計画2020／2030」の達成に向けて活動を推進しています。グループ一丸で取り組んだ結果、目標年度である2020年度の目標をすべて達成することができました。

ITソリューションの提供を通じた社会全体のCO₂排出量の削減については、iStorage HS8シリーズ、UNIVERGE PFシリーズ、物流ソリューションULTRAFIXなどが増え、NECグループ全体で2,655万tの削減に貢献することができました。また、製品のエネルギー効率改善では、モバイルインフラ装置、IPネットワーク機器などのエネルギー効率が向上し、全体として65%の改善を達成しています。気候変動の影響への備えでは、社会全体で気象災害への備えが進められていることから緊急連絡・安否確認システムなどの提供が増え、CO₂に換算^{*}して、2,360万tの価値を提供することができました。

自社のCO₂排出削減への取り組みにおいても、SBT認定を通じて取り組みを加速したことで再生可能エネルギーの活用拡大も目標を大幅に上回る導入を達成し、CO₂排出量原単位の削減も達成することができました。

* 温室効果ガス(CO₂など)の排出量の増加傾向と、気候変動による影響(自然災害や健康被害など)の増加傾向から、リスクごとの相関関係を見出し、ICT活用によって軽減される可能性のある被害の大きさや費用をCO₂排出量の削減貢献量に換算したものです。

NECグループ環境経営行動計画2020／2030の進捗状況

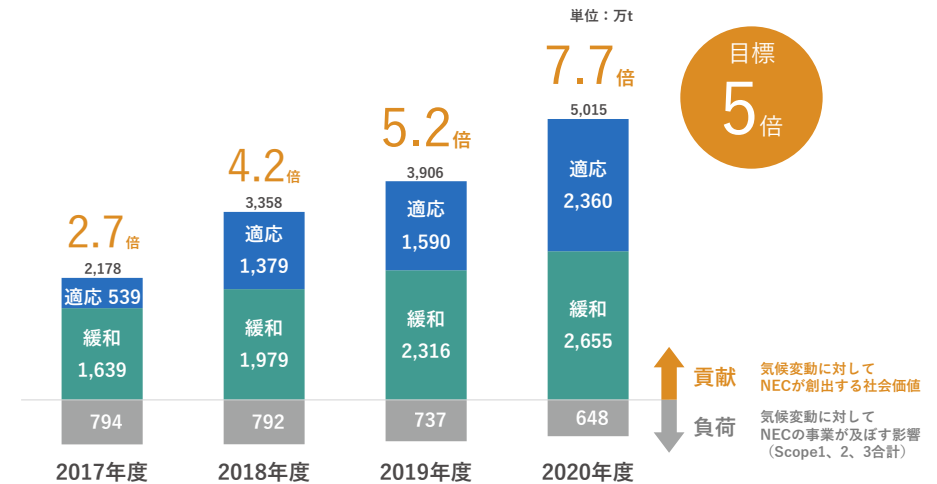
		2020年度実績	2020年度目標	2030年度目標
「緩和」への貢献	① ITソリューションの提供を通じた社会全体のCO ₂ 排出量の削減	2,655万t	2,300万t	5,000万t
	② 製品エネルギー効率改善 製品使用時におけるCO ₂ 総排出量削減率 (2013年度製品比)	65.0%	65.0%	80.0%
「適応」への貢献	③ 社会ソリューションの提供を通じた気候変動の影響への備え	2,360万t (価値をCO ₂ へ換算)	課題解決に寄与するソリューション競争力強化と事業を通じた貢献の拡大	
事業部活動からのCO ₂ 排出量の削減 (Scope1、2)	④ 効率化によるCO ₂ 排出量(絶対値)の削減 (2017年度比)	-18.0%	-8.0%	-33.0%
	⑤ 再生可能エネルギーの導入拡大 再生可能エネルギー使用電力量	63,381MWh	28,600MWh	-

2020年気候変動対策目標

NECは、2014年7月に気候変動対策への貢献による社会価値を定量化し、2020年度にサプライチェーン全体のCO₂総排出量に対して5倍のCO₂削減貢献という目標を掲げました。この目標の達成に向け、2020年度にサプライチェーン全体(Scope 1～3)の環境負荷(CO₂総排出量)はもちろん、ICTを活用して高度な社会インフラを提供する「社会ソリューション事業」を通じて、気候変動(地球温暖化)の「緩和」(温室効果ガスの排出抑制)と「適応」(影響への備え)の両面で貢献を強化してきました。

2020年の結果は7.7倍となり、目標を達成することができました。これは、達成に向けて「NECグループ環境経営行動計画2020／2030」へ具体的な目標を落とし込み、気候変動の緩和と適応の両面から貢献するソリューションの提供を促進してきた成果だと考えています。

2020年度までの気候変動対策目標



Scope3カテゴリー1の係数を見直したことにより、2017年度以降のScope3全体の排出量を修正しています。「負荷」は、生産・オフィスや製品の使用など、サプライチェーンなどから出るCO₂排出量です。「貢献」のうち「緩和」では、お客さまへ提供する製品・サービスを通じた社会全体のCO₂排出量の削減と、製品エネルギー効率改善による貢献量を示し、「適応」では、ソリューションによる社会全体のCO₂排出量の抑制による貢献量を表しています。